

モニター通信 No.4

皆さんから寄せられた「モニター通信 11 月分」を紹介します。

「みんなに広めたい我が家のエコ技術について」

～市報・ホームページ・消費生活展や啓発活動などでエコについて様々な情報発信をしています。より一層エコを勧めるためご自身での取り組みなど自由な意見をお願いします。～

モニターから No. 1

題記について特に皆に広めたいエコ技術があるわけではありません。強いて言うならば、生活全般に於いてどこの家庭でも実行していることばかりです。高齢者なので、今までの経験上現代は物が満ち溢れており、俗に言う「お金」さえあれば何でも揃う世相で、誰もが贅沢な生活が身に染みつき物欲が台頭し、心の空虚さを感じると思います。昔の事、特に昭和初期の生活スタイルには戻れないとは思いますが、そんなことを言うとすぐナンセンスと一蹴されてしまいます。

それでは具体的には、私の家について次のように実行しています。

○食事は全部食べ切る ○スーパーに食材を買い求める時には購入品目をきちんと整理し、空腹時には行かない ○外食は極力避ける ○洗濯は風呂の残り湯を極力使う ○早寝早起きの生活スタイル ○照明は自分の部屋のみで他は消灯する ○LED 照明に取り替える ○エアコン使用は夏場 28℃以上、冬場 18℃以下に決めておき、また公共施設やスーパーに行き恩恵にあずかる ○車の速度は法定速度内で、特に 40km/h から 60km/h の範囲で運転する ○急のつく運転を止める ○法定点検 6ヶ月と 1年を実施する

以上、思いついただけの項目ですが、ややケチの領域で何となく恥ずかしい限りです。

モニターから No. 2

エコとして特に目新しいことは行っていません。食品ロスを出さないように気をつけたり、誰もいない部屋の灯りは消すようにしている他、古くなったタオルや T シャツは適当な大きさに切って使い捨ての雑巾にしたり、台所から出る野菜くずや果物の皮は米ぬかと混ぜて発酵させ、借りている市民農園に持って行って堆肥として使っています。「エコ」というと環境を守るために行うと思われていますが、私が行っている「エコ」はそのまま「節約」ということに重なります。つまり節約になるからエコを行うことが続けられるのであって、もしそれがお金を出して行うのであれば長続きはしていないと思います。エコの大切さは理解していても自分の利益につながらなければ実行する人は限られるでしょう。

また社会全体ではエコに関連してレジ袋の有料化やクリスマスケーキを予約制にするなど商品を売る側の工夫も見られますが、消費者側も店に欠品がなくいつも豊富に商品が並んでいることを当たり前と思うことをやめたほうがよいと思います。そして政府には環境を守ることがどれだけ大切かを子どもたちに教えるようにしてほしいし、マスコミはエコはクールなのだということを広めてほしいと思っています。

モニターから No. 3

《生分解性プラスチックについて》

先日、テレビで新しいプラスチックの放送を見ました。それによると今日、プラスチックゴミが海を渡り世界中を騒がせている中で生分解性プラスチックのストローを紹介していました。これはでんぷんを原料としたもので有機肥料に影響を与えず投棄されても微生物が食べてくれ、ゴミとしてたまることはない環境に優しいプラスチックという事でした。欠点は現状のプラスチックより高値、耐久性が劣り使い捨てを前提としたものとの事でした。主な製品はペットボトル、農業用シート等でした。製品開発はこれからとのことですが、今、プラスチックゴミが世界中の問題になっている最中光明を見いだした思いがしました。

土浦市ではプラスチックゴミ再資源化に基づき一般ゴミとは区別して万全化を図っていますが、私達住民も市の方針に則りしっかりゴミ出しを行っていく事が責務と思います。テレビで自国・外国の海岸に押し寄せた日本のマークの入ったプラスチックゴミを見た時の恥ずかしさは耐えられませんでした。日本の関係機関は日夜、現状の製品に生産品目、コストの改善に努めていますが、一部がテレビで紹介されたのを見て少しホットしました。私達も一層の環境保全を各家庭の中から認識し合い、きれいな社会を作っていくことが必要と思います。

モニターから No. 4

些かお粗末で恐縮ですが、「節水の取組」を主婦の立場からの工夫です。キッチンでの洗い物に無駄使いが多かったので、油污れ・ネバネバを水道水で流し洗いしていました。夏場は殊に気持ち良くスッキリ感も大です。付け置き洗いも効果ありますがシンク内が片付かず、臭いが残ります。水を無駄なく時間短縮には、材料の下洗い後の水や濁りが少なくなった米研ぎ水などを流さず、大きめの容器にプールしておき、食後の食器等の下洗い等に使い、スーパーで買った後に残る沢山のプラスチック容器、飲料ボトル、「プラ」表示の容器の下洗いをしてゴミに出しています。ほんの小さな足元の工夫ですが、大切な資源の利用の仕方を工夫しつつ、自分にも出来る事、ほんの小さな事も継続して行けば何かが。余談ですが水道料金にも果が！チリも積もれば・・・。

モニターから No. 5

我が家でやっていることは、リサイクルと省エネだろうか。ペットボトルと空き缶は、近所のスーパーでリサイクルするとポイントが入り買い物に使えるので、潰さずにためておき持っていく。その他の物は市の資源ごみ回収日に出せるよう、まとめておく。孫の洋服は譲って着てもらい、大人の洋服できれいな物はバザーに、その他の綿製品で使えそうな物は雑巾にして使っている。

今年の春先に冷暖房対策に窓に内窓をつけたこと、古くなったエアコンを夏に買い換えたこと、トイレや階段などの照明をLED照明に交換したことも省エネになっていると思う。15年以上前の家電製品は電気使用量が多いので買い換えた方が良いという話を聞いた時は、買い替えにお金がかかると二の足を踏んでいたが、新しいエアコンには使った電気代が表示され省エネになっていることがよく分かる。些細なことではあるが洗濯は夜間電力を使ってできるよう、できるだけ夜半にセットしている。他にもいろいろあると思うが、無理のない範囲でやっていけたらと思っている。

モニターから No. 6

《くらしのセミナー移動学習に参加して》

11月13日の施設見学に参加させていただきました。白鳥町の一般廃棄最終処分場、神立リサイクルセンターバイオプラント、県南水道事務所などすべてが、生活に直結する施設で大変勉強になりました。水の供給のありがたさや、我々が出すゴミに対する再生技術など、改めて日本の技術の高さを知りました。実際にゴミの分別は難しいですが、ルールにのっとり協力していきたいと感じました。最終処分場も、いつかは一杯になってしまいます。次の候補地の選定など、問題が山積みです。ゴミ袋は有料化されましたが、少しずつ効果が表れているとのこと。ゴミに対する意識を自ら率先して変えていかなくては、と切に思いました。

モニターから No. 7

我が家のエコ技術。いろいろとエコには気を付けているが、今回は水の節約についてご紹介します。まず、風呂の浴槽。風呂に入るたびにおよそ200ないし300リットルの湯を沸かすことになる。しかし、その浴槽には一人しか入れない。それがもったいないので、その浴槽に、2リットルの水の入ったペットボトルを25本入れてある。自動給湯するとその分(約50リットル)は給湯なくて済むということになる。家族が浴槽につかるときには、そのまま入る、あるいは何本かのペットボトルを取り出してつかる。ペットボトルと一緒に浴槽につかっていたって特に邪魔になるということでもない。こうしておよそ4回分の湯で5回入浴できることになる。残り湯を洗濯に使うことは言うまでもない。

台所では、シンクに二つの洗いオケ(ステンレス)を置いてあって、野菜を洗った水は一つの洗いオケに受ける、蛇口から出た水で野菜を洗ってもそのまま捨てることはしない。一つのオケがいっぱいになったら次のオケに替える。こうして溜めておいた水は食後の食器洗いに使う。一つのオケでもいいが、満水になると重くて動かないので二つにしている。もちろん、食器が多い時には足りないが、少なくとも捨てなかった水である程度は洗うことができる。シンクの下に食器洗い機を備えてあって、食器が多い時には使っている。この装置は溜めてある水で食器の汚れた表面をシャワーで繰り返し洗うので、たいへんに水の使用量が少ない。例えばコップを手洗いで洗うときに、えてしてコップの中を水で満たしてしまうが、食器洗い機では、洗剤の入った湯を表面に吹き付けて洗うので、少ない水(湯)で汚れを洗い落とすことができる。機内に入っている食器すべてを同時に同様に処理するので要する時間も短い。

車の洗車。我が家の自家用車はあるメーカーの最高級車であるが、年に二回しか洗車をしない。それも、決して土浦市の水道から出てくる飲める水は使わない。もったいなくて、飲める水で車を洗うなどということとはできない。車は、6カ月ごとに定期点検をディーラーでやってもらっていて、その時に、ディーラーの洗車機で洗剤もワックスもかけずに、水だけで洗ってもらっている。ディーラーの洗車機の水は井戸水であって、飲めないが洗車には十分である。また、洗車機は、キッチンの食器洗い機と同様に、水を吹き付けて汚れを落とすので、使用する水の量は少ない。洗剤もワックスも使わないで洗ってもらうので、なおさら水の使用量は少ない。夏の暑い時に汗かきながら飲める水を使って洗車する、あるいは、冬の寒い時に冷たい水で手を使って洗車するなんて、考えられない。時間をかけて飲める水を使っていくらきれいに洗ったって、1週間そこらで雨が降ればその時に走ればまた汚れてしまうのだから。ディーラーでの定期点検は予約して行って、コーヒー飲みながら30分待っていれば車全体の点検と必要な部品の交換・洗車ま

で終わって済んでしまい、その日からまた半年は安心して乗れる。失った、あるいは、使ってしまった「時間」は戻ってこない、買い取ることもできない。自宅で飲み水を使っての洗車は30分で終わるだろうか。その準備・後片付けにも時間がかかり、それでできることは洗車だけである。車は単なる移動手段である。洗ったばかりのどんな高級車だって道路を走れば安い車と同じようにすぐに汚れる。取り返すことのできない大切な人生の時間と高価な飲める水を使ってまで洗車などというおよそエコでないことはやめたほうがいい。

ファミリーレストランやスーパーマーケット、ショッピングモールに行った時には、そこで帰りがけに必ずトイレを済ませる。こういう施設のトイレは井戸水を使っているのだから土浦市の水道に負担をかけなくて済む。自宅のトイレで水を流すのは仕方ないが、屋根からの雨水をここに流せる設備を開発してもらえないかと思っている。スポーツクラブで、歯を磨いているとき、あるいは髭を剃っているときに水(湯)を出しっぱなしにしている男性をよく見かけるが、あんなもったいない・無駄なことをよくもできるものだと思う。

モニターから No. 8

《くらしのセミナー移動学習に参加して》

先日、くらしのセミナー移動学習に参加しました。

- ①土浦市一般廃棄物最終処理場
- ②神立リサイクルセンター バイオプラント
- ③かすみがうら未来づくりカンパニー
- ④茨城県県南水道事務所

の4ヶ所を見学しました。個人ではなかなか行けない所ですので、見学させて頂き大変勉強になりました。

- ①はゴミの分別がなされ、昨年よりも埋め立てる量が少なくなっているとのことでした。
- ②は生ゴミをリサイクルして、肥料などに利用するための所でした。
- ③は「サイクリングの街」として、色々な施設を作っているところです。この未来づくりカンパニーは出来たばかりということで、とてもキレイで霞ヶ浦が目の前にあり、サイクリングの休憩や食事などに利用されるとのことでした。お土産コーナーもあります。この日はお天気も良くサイクリング日和で、平日にもかかわらず多くの利用者の方がいました。私もサイクリングしてみたいなあと思いました。
- ④は最近新しくなった施設を見せて頂きました。私たちにとって大切な「水」。少しでも霞ヶ浦の水をキレイにして、おいしい水を飲みたいものです。それには、家庭からの「汚水」を下水に流さないことだと思います。私がそのために気をつけていることは「ラーメンの残り汁」や「油料理の後始末」にペーパーで拭く、染み込ませるなどしています。

今後もゴミの分別をきっちりとし、水を汚さない工夫をしっかりとし、住み良い土浦市にしていきたいと思っています。

モニターから No. 9

我が家では生ごみを一度も出していません。生ごみを自宅で粉碎する機械を購入してます、購入時に確か市からの補助金があったような記憶があります。11/24には、住んでいる自治会でごみ分別の勉強会がありました。その席上でそのような機械がある事を伝えると知らない人ばかり

りでした。

自宅で処理した物は、家庭菜園の堆肥として使って美味しい野菜などを栽培してますのでお裾分けなどしてます。その時にもこの機械の事を紹介すればよいですね。でも私は一度も手掛けたことはありませんからやはり男はダメですね？男の意識を変えることが大切だと思います。

また最近では車を購入しましたハイブリッド車ですよ。確かに購入金額は高いですし、余り距離を走らない人は高く付きますが？優遇税制もあり思い切りました。エコで環境にいいですからね。温暖化にも一役買っていると思う事も大切だと思います。そうは言ってもお近くのコンビニや買い物に行くのに自転車や歩いていけばよいのに直ぐ車に乗って出かけるのは如何なものか？言っている事とやっていることが違うと言われますね。『ポーと生きているんじゃないよー』チョコちゃんに叱られます。(笑い)

モニターから No. 10

《くらしのセミナー移動学習に参加して》

初めて移動学習に参加した。感想を素直に表すとすると、参加してみてかなり勉強になり、そして考えさせられることがたくさんあった。生活に最も身近なゴミと水問題なので、当然のことではあるが・・・。

まずは最終処分場の見学。予定では2年前に満杯になってしまうはずだったが、ゴミの減量により数年先まで延びたようだ。しかし、近い将来必ず満杯になってしまうことは明らかだ。少しでも先に延ばさなくては、いわゆる迷惑施設を受け入れてくれることはなかなか難しい。誰しも必要性は分かっているながら、自分の周辺には出来て欲しくないと思ってしまう。だからこそゴミ減量・仕分け等をしながら一人一人が思いを巡らせないと手遅れになってしまう。ゴミを出して収集車に持って行ってもらったので、私たちの役目はこれで終わりと考えがちだが、いったん立ち止まってその後の焼却場や処分場のことも想像してみよう。とは言え、焼却灰や雨水は何重にもしっかりと管理されていて漏れないようになっていたので、安心することが出来た。

次にリサイクルセンター バイオプラントの見学をした。ここは生ゴミ等の処理施設であるが、大学や役所と連携を密にしながら稼働しているということが良く分かった。やはりどちらの施設にしても、私たち側で原料をよく考えることが大事だろう。午後は水道事務所に行った。霞ヶ浦の水をきれいにし、飲み水として提供するまでの工程をビデオで見た。そして従来の施設と共に、もっとおいしい水にするための研究棟も見せてもらい、楽しい見学だった。

今回かなり中身の濃い一日だった。しかし、もっともっといろいろな立場の人が「気軽」に参加できないものか。例えば午前中はゴミの施設、午後からは今流行りの工場見学などはどうだろうか。茨城県内にもたくさんあると思うので、実現は可能なのではないだろうか。

身近にあるゴミではあるが、ゴミ問題となるとハードルが高いと考える人もいると思う。もっと気楽にもっと手軽に、みんなで楽しく参加し勉強していけたら良いのではないかと思う。

モニターから No. 11

エコというと、まずごみを減らしたり、節電したりと少しずつ個人レベルでできることを確実にやるのが、大事なことだと思う。それがやがて大きな成果につながっていくのだから。我が家でも些細なことだが、メモ用紙は広告やその他の裏紙に書いてもちろん最後は雑紙としてリサイクルするし、着なくなった服は、着られそうなものは使ってくれる方に、それもできないよう

なものは、小さく切って掃除や油の処理に使うようにしている。野菜くずもなるべく出さないようにし、皮も使って立派な一品になるという工夫を教えてもらって実践している。そのほかにも、まだまだ知恵を絞れば何かしらできることはたくさんあるはずだ。

いろいろな工夫やアイデアを広く知ってもらえれば、共感してくれる人は大勢いるはず、さらなる情報の発信が必要ではないかと思う。

モニターから No. 12

我が家のエコ技術について書かせて頂きます。家で使っている照明をLEDに変えました。外の照明については、太陽熱を利用した物に変え、初期投資はかかりましたが、長い目で考えるとお財布に優しい結果が出て大変助かっております。それと外出時の飲み物持参も家族で心掛けております。これが習慣となり今では我が家の当たり前となりました。

こうした小さな習慣が、ゴミを減らしエコにつながって行くと思います。